



東南アジアへの道

2月19日、対馬市アドバイザーに東京都出身の八木桂子さんを任命しました。八木さんには、国内及び東南アジアとの物流拡大等に関する専門的技術について、必要な指導と助言をしていただきます。



災害等から命を守るために

2月25日、対馬市交流センターで対馬市防災会議が行われました。市の地域防災計画の修正が報告され、今後起こる可能性のある災害に対して、どのように計画されているのか意見が交わされました。



大切にに使わせていただきます

2月26日、内山地区の有志で結成されツシマヤマネコとの共生する地域社会づくりに取り組む「内山盆地の里やまねこ会」からツシマヤマネコ基金へのご寄附とオリジナル商品の「ヤマネコ脱臭炭」をいただきました。



祝 白寿 おめでとうございます

東本 濱市さん（峰町）大正5年2月10日生まれ
99歳を迎えられた方々に市から褒状とお祝い金が贈られました。なお、川上スエさん（厳原町：大正5年2月29日生まれ）はご都合により写真の掲載はございません。これからも長生きしてください。



対馬になびくハーモニー

2月8日、対馬市交流センターで市内の13団体が参加して「第8回対馬島の合唱祭」が開催されました。各団体の合唱が終わるたびに大きな拍手がわき起こり、歌で奏でるハーモニーで観客を魅了しました。



「ほうれんそうは対馬を強くする」と題して

2月13日、対馬市消防本部で消防職員意見発表会が行われました。最優秀賞には山田大輔さんが、優秀賞には阿比留幸輝さんと小宮卓さんが選ばれました。3人は4月に対馬市で行われる県発表会に出場します。（関連記事は11ページ）



新時代の車、対馬初上陸

2月19日、市はHONDA様のご協力で水素で動く車「燃料電池自動車（FCXクラリティ）」の展示イベントを対馬市交流センター南側公園で行いました。車の外部給電機能を活かしたカフェイベントもあり、新時代の到来を予感しました。

Pickup!① 学生と一緒に対馬を考える

2月4日、九州大学持続可能な社会のための決断科学センターと対馬市は、人材育成・共同研究の推進・地域振興等に寄与する事を目的とした協力協定書を調印しました。

市が取り組んでいる域学連携に九州大学の大学院生・教員が参加し、専門性を活かして研究や実践活動に取り組んでいきます。

調印式後には、大学院生たちによるこれまでの活動報告や、今後対馬で取り組みたいテーマなどが発表されました。また市長と大学院生たちによる対馬に関する様々な事例の意見交換会も行われました。



写真右：九州大学 矢原 徹一教授



表現力豊かに

Pickup!②

2月15日、対馬市公会堂で「第14回対馬少年の主張大会」が行われました。各地区の予選を勝ち抜き11名の中学生が参加して行われたこの大会は、全員が中学生とは思えないくらいの表現力で、堂々とした発表を行いました。

【結果は以下の通り】

- 最優秀賞…川辺 茉和さん（厳原中2年） 「伝統の灯火が消える前に」 ※18ページに掲載
優 秀 賞…永野 里紗さん（比田勝中1年） 「なりたい自分に」
優 秀 賞…島居 陽雄馬くん（佐須奈中2年） 「地域の思いを受け継ぐ」
「社会を明るくする運動」長崎県弁論大会 対馬市代表
松井 理恵さん（豊玉中2年） 「明日に向かって」



最優秀賞・川辺茉和さん

※最優秀賞の川辺茉和さんは、平成27年度長崎県少年の主張大会に、松井理恵さんは「社会を明るくする運動」長崎県弁論大会の対馬市代表として出場します。